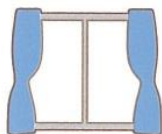


Q. 「ひきこもり」ってどういう状態？

A. 特定の病気などではなく、約半年以上外出ができない、家族以外と交流がないなどの状態です。



原因は様々で、不登校や就職のつまづき等がきっかけとなっていることもあります。

ひきこもりは、ご本人だけでなく、家族全体に大きな影響を与えます。

Q. 「チーム絆」早期支援特別班ってなに？

A. 学校と連携し、適切な支援機関につなげる役割を担います。

早期支援特別班は中学・高校と連携し、不登校・ひきこもり傾向にある生徒及びご家族に対して面談等を行い、適切な相談機関や支援機関につなげる役割を担っています。



「チーム絆」とは

行政と民間支援団体が連携してサポートする京都府の仕組みです。

Q. 「脱ひきこもり支援センター」ってなに？

A. ひきこもり状態の方と、その家族を支援する相談機関です。

ひきこもり支援は、ご本人やご家族だけでの解決は難しく、家族全体を支える第三者の存在が重要です。脱ひきこもり支援センターは、ひきこもり状態にある方とその家族を支え、社会との繋がりを強めていけるよう支援します。

Q. どこにあるの？

A. 京都府内2か所(南部・北部)にあります。



脱ひきこもり支援センター

T605-0862  
京都市東山区清水四丁目185番地1  
京都府家庭支援総合センター内

交通案内

京都市バス・京阪バス  
「五条坂」徒歩2分



脱ひきこもり支援センター  
北部サテライト

T620-0055  
福知山市篠尾新町1丁目91番地  
京都府福知山総合庁舎内

交通案内

京都交通バス「総合庁舎前」すぐ  
JR「福知山駅」徒歩10分

京都府  
脱ひきこもり支援プロジェクト

不登校・ひきこもり

Q&A

はじめの一步のために…

ご本人も、ご家族の方も、まずは  
こちらまでご連絡ください。

☎ 075-531-5255

T605-0862 京都市東山区清水四丁目185番地1  
脱ひきこもり支援センター(京都府家庭支援総合センター内)  
「チーム絆」早期支援特別班

京都府

Q. 相談するにはどうすればいい?

A. まずはお電話ください。

専門の相談員等がお話を伺った上で、具体的な対応を一緒に考えていきます。学校の先生を通じてご連絡いただいても結構です。(※相談は無料です)



Q. 支援の流れが知りたい。

A. 詳しくは右図をご覧ください。

ひきこもりの解決には、ご本人の状態に応じた関わりが大事です。

そのために、家族・学校・その他の支援機関がしっかりと連携することが大切です。

脱ひきこもり支援センター(チーム絆)では、それぞれの段階に応じた支援を用意しており、教育・福祉・就労等の分野での様々な支援をつなぎあわせながら、ご本人やご家族を支えています。



## 《支援の流れ》

### 第1段階 支援との出会い

- まず、ご家族や学校などからお話を伺い、課題等の整理を行います。またご家族のご本人への関わり方について助言をします。
- ご本人の気持ちを大切にしながら、お話をお聞きする方法を一緒に考えていきます。**【家族支援】**

### 第2段階 支援の定着・安定

- 相談員等がご本人とお会いして信頼関係を築き、課題の整理や心理的なサポートを行います。
- またご家族への支援も並行して行います。**【本人支援・家族支援】**

### 第3段階 集団との再会

- 興味のある事柄について、少人数のグループで活動できる場所を提案し、グループ活動を通してコミュニケーション力や自己肯定感を養う手助けをします。**【本人支援】**

### 第4段階 社会参加の試行

- 就学や就労などの社会参加を具体的に考えていく段階になります。
- 就労を目指す場合は、様々な就労支援をご案内し、就労に向けた準備をお手伝いします。**【本人支援】**

#### 脱ひきこもり支援センターへの電話相談

表紙の電話番号へまずはお電話ください。

#### 脱ひきこもり支援センターへの来所相談

府内2か所で実施しています。詳しくは裏表紙をご覧ください。

#### ご自宅などへの訪問

#### 「家族教室」への参加

ひきこもりについて、同じ境遇の家族と交流しながら学びます。  
(※脱ひきこもり支援センターへのお電話にてご予約ください。)



#### 集団の居場所での交流

「趣味や興味のあること」から  
様々な学習・軽作業を体験

#### コミュニケーション活動

家族以外の方と一緒に学習や体験活動に取り組み、その経験を通して、社会参加に向けた力を育みます。

#### 就学・就労

再び、社会との繋がりを模索

就学を目指した学習や、「チーム絆」の協力企業等での短期就労体験を行うなど、社会的自立を目指した基礎的な訓練を開始します。

